

「臨床・介護モニタリング研究の新展開」特集 New Developments on Clinical and Nursing Monitoring Research

論文誌 C (電子・情報・システム部門誌) では、平成 30 年 6 月号に「臨床・介護モニタリングの新展開」特集号を企画します。

医療・介護分野の市場規模は国内外問わず拡大の一途をたどっています。国内の方に目を向けてみますと、高齢者層の増加と労働人口の減少といった問題を抱えており、臨床・介護の現場においては特に省力化及び安全性という観点においてモニタリング技術の重要性が増す一方にあります。モニタリング技術は、古くは心電、心拍、血圧、SpO₂のベッドサイドモニタリングに始まり、インターネットの発展はこれらバイタルサインの遠隔診断・モニタリングを可能としました。近年では睡眠・行動モニタリングといった介護分野にも技術の展開が見られ、今後は臨床・介護分野への IoT, ICT 導入のさらなる加速により、医療過誤防止、安全性評価、非接触モニタリング、脳機能診断システムなどにも新展開が期待されています。このような状況を背景として、今回「臨床・介護モニタリングの新展開」特集を企画しました。下記のキーワードを参考に、奮ってのご投稿お待ちしております。なお、査読関係や投稿件数などの都合で特集号に掲載できない論文は、一般論文として取り扱われますので、あらかじめご了承ください。

キーワード： 生体モニタリング、脳機能モニタリング、生体モデリング、検査・診断システム、遠隔診断システム、介護支援技術、医療 ICT、医療 IoT、医療情報システム、安全性評価

投稿締切： 平成 29 年 8 月 28 日 (月)

詳細は、電気学会の論文投稿手続きに従って下さい。「**締切厳守**」でお願い申し上げます。
http://www.iee.jp/?page_id=642 から原稿作成の手引きをダウンロードできます。

投稿方法： 投稿は電子投稿・査読システムで受け付けます。

<https://submit.iee.or.jp/main/cgi/sstk-top.cgi> からご投稿下さい。電子投稿・査読システムの「論文・資料・研究開発レターの投稿」画面において「論文誌 C」を選択肢、次に原稿種別 (論文/資料/研究開発レターのどれか) を選択した後、「原稿投稿」画面において「臨床・介護モニタリング研究の新展開」特集を選択して下さい。電子メールを用いた投稿、郵送での投稿は受け付けられませんのでご注意下さい。

ゲストエディタ/問合せ先： 佐藤 隆幸

首都大学東京大学院理工学研究科

〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1

E-mail: s-takayuki@tmu.ac.jp